

科目ナンバー： BC5124

授業コード： 2230501200

講義科目名称： 国際看護活動論

英文科目名称： Global Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	看護師課程選択必修
担当教員			
◎辻村弘美、山本さくら、大山達也			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎辻村 弘美 中村 史 山本 さくら 実務経験のある教員が担当します。		
	【所属】 群馬大学 JICA新潟デスク 地域おこし協力隊		
	【研究室】 		
	【本学の科目区分】 専門科目		
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ○ ○ ◎		

到達目標	1. 途上国における国際協力や看護活動について述べるができる。 2. 多文化共生や異文化理解の必要性について、自分の意見を表現することができる。 3. 日本や諸外国で自身がしたい国際看護活動とは何かを表現することができる。
------	---

授業概要	国際看護論等の授業で学習した既存の知識や技術を基盤として、途上国や在日外国人に対する国際協力や国際看護活動の実践について学ぶ。多文化共生や異文化理解を深め、グローバルな視点で看護を捉える方策について考える力を養う。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：対面講義 学習課題：開発途上国や国際協力について知る。 学習内容：持続可能な開発目標（SDGs）時代における国際協力の潮流と事例、ならびに日本の政府開発援助（ODA）について、講義およびグループワークを通じて紹介する。 事前学修：JICA事業（技術協力、有償資金協力、無償資金協力）について簡単に調べる。 事後学修：SDGsとJICA事業の関連について整理してまとめる。 備考：大山
	2	授業内容 授業形態：対面講義 学習課題：開発途上国や国際協力について知る。 学習内容：JICA海外協力隊の活動について紹介する。また、ボランティア活動による国際協力の意義について、相手国、日本国、参加個人の各々の立場で考える。 事前学修：アフリカ（マラウイ共和国）の概要について調べる。 事後学修：アフリカにおける技術の発展（イノベーション）による医療課題解決の事例についてまとめることができる。 備考：大山
	3	授業内容 授業形態：対面講義 学習課題：国際協力活動の実践について知る。 学習内容：JICA海外協力隊の活動について紹介する。また、ボランティア活動による国際協力の意義について、相手国、日本国、参加個人の各々の立場で考える。 事前学修：途上国における看護活動や国際看護の役割について、教科書やインターネット等を用いて調べ、概要を把握する。 事後学修：授業で紹介した途上国における看護活動の事例をもとに、看護職に求められる役割や課題について整理し、まとめる。 備考：山本
	4	授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：国際協力活動の実践について知る。 学習内容：JICA海外協力隊の活動について紹介する。また、ボランティア活動による国際協力の意義について、相手国、日本国、参加個人の各々の立場で考える。 事前学修：国際看護活動において看護職が直面する課題や、多文化・異文化環境での看護実践について、教科書やインターネット等で調べる。

	事後学修：授業内容を踏まえ、日本または海外において自身が関心を持つ国際看護活動について考え、その理由や意義を整理する。 備考：山本 5 授業内容 授業形態：遠隔講義, グループワーク 学習課題：国際看護活動の実際について知る。 学習内容：途上国における看護活動や研究について紹介する。 事前学修：JICA海外協力隊の概要と実際の活動について教科書やインターネット等で調べる。 事後学修：JICA海外協力隊の活動の実際についてその現状や課題を整理してまとめる。 備考：辻村 6 授業内容 授業形態：遠隔講義, グループワーク 学習課題：異文化理解・異文化看護を深める。 学習内容：海外や日本で暮らす外国人の実際にあった様々な事例等について紹介し、ディスカッションを行う。 事前学修：日本や自身の住む地域で暮らす外国人の生活状況や問題点について調べる。 事後学修：多文化共生や異文化理解を深めるための方策について整理し、これからの学習に活用できる資料を作成する。 備考：辻村 7 授業形態：対面講義, グループワーク 学習課題：グローバルかつローカルな視点で看護を捉え、考える力を養う。 学習内容：途上国におけるある村の事例に関してGWと発表を行う。 事前学修：途上国が抱える様々な問題とその影響について教科書やインターネット等で調べる。 事後学修：途上国が抱える様々な問題とその対策についてプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）の5原則の視点でまとめることができる。 備考：辻村 8 授業形態：対面講義, グループワーク 学習課題：グローバルかつローカルな視点で看護を捉え、考える力を養う。 学習内容：途上国におけるある村の事例に関してGWと発表を行う。 事前学修：途上国が抱える様々な問題とその影響について教科書やインターネット等で調べる。 事後学修：途上国が抱える様々な問題とその対策についてプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）の5原則の視点でまとめることができる。 備考：辻村
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対して、GWの取組みと発表60%、終了レポート40%により評価する。 ただし、課題レポートの提出がない場合は、不合格とする。
必携図書	教科書なし
参考図書・資料等	看護学テキストNiCE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために（南江堂）等
受講、課題、資料配布等のルール	授業前までに資料を配布する、課題レポートについては授業の中で説明する。
教員からのメッセージ	グローバル化やダイバーシティが益々進展していく中、日本国内においても国際看護や異文化看護、国際協力の必要性が高まっています。世界で起こる様々なニュースや報道に耳を傾け、自身で何ができるか、何をしたいかを考えて欲しい。
オフィスアワー	—